

表 平成 22 年度 年度計画 新旧対照表(1/5)

変更前	変更後	変更理由
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1. 衛星による宇宙利用</p> <p>(1) 地球環境観測プログラム</p> <p>(a) 地球環境観測衛星の研究開発</p> <p>本プログラムに関する衛星の研究開発として以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第 1 期水循環変動観測衛星(GCOM-W1)の維持設計、プロトフライトモデルの製作試験、及び地上システムの開発</li> <li>● 全球降水観測／二周波降水レーダ(GPM/DPR)の維持設計、プロトフライトモデルの製作試験、及び地上システムの開発</li> <li>● 第1期気候変動観測衛星(GCOM-C1)の詳細設計、エンジニアリングモデルの製作試験、及び地上システムの開発</li> <li>● 雲エアロゾル放射観測衛星／雲プロファイリングレーダ(EarthCARE/CPR)の詳細設計、エンジニアリングモデルの製作試験、及び地上システムの開発</li> <li>● 将来の地球環境観測ミッションに向けた観測センサの研究</li> </ul> <p>(b)～(c) (略)</p>	<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1. 衛星による宇宙利用</p> <p>(1) 地球環境観測プログラム</p> <p>(a) 地球環境観測衛星の研究開発</p> <p>本プログラムに関する衛星の研究開発として以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第 1 期水循環変動観測衛星(GCOM-W1)の維持設計、プロトフライトモデルの製作試験、及び地上システムの開発</li> <li>● 全球降水観測／二周波降水レーダ(GPM/DPR)の維持設計、プロトフライトモデルの製作試験、及び地上システムの開発</li> <li>● 第1期気候変動観測衛星(GCOM-C1)の詳細設計、エンジニアリングモデルの製作試験、及び地上システムの開発</li> <li>● 雲エアロゾル放射観測衛星／雲プロファイリングレーダ(EarthCARE/CPR)の詳細設計、エンジニアリングモデルの製作試験、及び地上システムの開発</li> <li>● <b>陸域観測技術衛星 2 号(ALOS-2)の詳細設計、エンジニアリングモデルの製作試験、及び地上システムの開発</b></li> <li>● 将来の地球環境観測ミッションに向けた観測センサの研究</li> </ul> <p>(b)～(c) (略)</p>	<p>中期計画の変更(平成 22 年 9 月 14 日認可)を受け、年度計画を見直す。</p>

表 平成 22 年度 年度計画 新旧対照表(2/5)

変更前	変更後	変更理由
<p>(2) 災害監視・通信プログラム</p> <p>(a) 陸域観測衛星の研究開発</p> <p>本プログラムに関する衛星の研究開発として以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●陸域観測技術衛星 2 号 (ALOS-2) の詳細設計、エンジニアリングモデルの製作試験、及び地上システムの開発</li> <li>●陸域観測技術衛星 3 号 (ALOS-3) の研究</li> <li>●超低高度衛星技術試験機 (SLATS) の研究</li> <li>●将来の災害監視・通信ミッションに向けたミッション機器等の研究</li> </ul> <p>(b)～(c) (略)</p> <p>(3)～(4) (略)</p>	<p>(2) 災害監視・通信プログラム</p> <p>(a) 陸域・<b>海域</b>観測衛星の研究開発</p> <p>本プログラムに関する衛星の研究開発として以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●陸域観測技術衛星 2 号 (ALOS-2) の詳細設計、エンジニアリングモデルの製作試験、及び地上システムの開発</li> <li>●陸域観測技術衛星 3 号 (ALOS-3) の研究</li> <li>●超低高度衛星技術試験機 (SLATS) の研究</li> <li>●将来の災害監視・通信ミッションに向けたミッション機器等の研究</li> </ul> <p>(b)～(c) (略)</p> <p>(3)～(4) (略)</p>	<p>中期計画の変更(平成 22 年 9 月 14 日認可)を受け、年度計画を見直す。</p>

表 平成 22 年度 年度計画 新旧対照表(3/5)

変更前	変更後	変更理由
<p>2. 宇宙科学研究</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 宇宙科学研究プロジェクト</p> <p>(a) 科学衛星の研究開発</p> <p>本プログラムに関する衛星の研究開発として以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●金星探査機(PLANET-C)の打上げ・運用及び金星大気の観測開始</li> <li>●日欧共同の水星探査計画であるベピコロombo (Bepi Colombo)計画の水星磁気圏周回衛星(MMO)の詳細設計及びフライトモデルの製作</li> <li>●電波天文衛星(ASTRO-G)の技術課題解決の見極め及び開発計画の再評価</li> <li>●小型科学衛星シリーズの研究開発</li> <li>●次期国際X線天文衛星(ASTRO-H)の基本設計及び詳細設計</li> <li>●次期赤外線天文衛星(SPICA)の研究</li> </ul> <p>(b)~(c) (略)</p> <p>3. ~4. (略)</p>	<p>2. 宇宙科学研究</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 宇宙科学研究プロジェクト</p> <p>(a) 科学衛星の研究開発</p> <p>本プログラムに関する衛星の研究開発として以下を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●金星探査機(PLANET-C)の打上げ・運用及び金星大気の観測開始</li> <li>●日欧共同の水星探査計画であるベピコロombo (Bepi Colombo)計画の水星磁気圏周回衛星(MMO)の詳細設計及びフライトモデルの製作</li> <li>●電波天文衛星(ASTRO-G)の技術課題解決の見極め及び開発計画の再評価</li> <li>●小型科学衛星(<b>SPRINT</b>)シリーズ <b>1号機の詳細設計及びフライトモデルの製作</b></li> <li>●次期<b>国際</b>X線天文衛星(ASTRO-H)の基本設計及び詳細設計</li> <li>●次期赤外線天文衛星(SPICA)の研究</li> </ul> <p>(b)~(c) (略)</p> <p>3. ~4. (略)</p>	<p>中期計画の変更(平成22年9月14日認可)を受け、年度計画を見直す。</p>

表 平成 22 年度 年度計画 新旧対照表(4/5)

変更前	変更後	変更理由
<p>5. 宇宙輸送</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) LNG 推進系</p> <p>「GX ロケット及び液化天然ガス(LNG)推進系に係る対応について」(平成 21 年 12 月 16 日、内閣官房長官、宇宙開発担当大臣、文部科学大臣、経済産業大臣)を踏まえ、LNG 推進系に係る技術の完成に向けた必要な研究開発(高性能化・高信頼性化など)を推進する。</p> <p>(3) (略)</p> <p>6.~11. (略)</p>	<p>5. 宇宙輸送</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) LNG 推進系</p> <p>「GX ロケット及び液化天然ガス(LNG)推進系に係る対応について」(平成 21 年 12 月 16 日、内閣官房長官、宇宙開発担当大臣、文部科学大臣、経済産業大臣)<u>に基づき、汎用性のある LNG エンジンの基盤技術の確立を目指し、推力 3~4 トン級エンジンの設計・試作を行い、燃焼試験にて設計の妥当性を確認する。</u></p> <p>(3) (略)</p> <p>6.~11. (略)</p>	<p>中期計画の変更(平成 22 年 9 月 14 日認可)を受け、年度計画を見直す。</p>

表 平成 22 年度 年度計画 新旧対照表(5/5)

変更前	変更後	
<p>II. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1.～2. (略)</p> <p>3. 情報技術の活用</p> <p>情報技術及び情報システムを用いて業務の効率化、確実化及び一層の信頼性向上を図るため、下記を実施する。</p> <p>(1)～(4) (略)</p> <p>4. (略)</p> <p>III.～VIII. (略)</p>	<p>II. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1.～2. (略)</p> <p>3. 情報技術の活用</p> <p>情報技術及び情報システムを用いて業務の効率化、確実化及び一層の信頼性向上を図るため、下記を実施する。</p> <p>(1)～(4) (略)</p> <p><b>(5) 情報セキュリティ対策</b></p> <p><u>政府の情報セキュリティ対策における方針を踏まえ定めた、情報システム基準について、職員等への講習を実施する。また、情報システム基準に基づき、機構が保有する情報システムの情報セキュリティ対策の確認を行い、改善計画を作成する。</u></p> <p>4. (略)</p> <p>III.～VIII. (略)</p>	<p>中期計画の変更(平成22年9月14日認可)を受け、年度計画を見直す。</p>